

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)

【公表番号】特表 2010-536967 (P2010-536967A)

【公表日】平成 22 年 12 月 2 日 (2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2010-048

【出願番号】特願 2010-521377 (P2010-521377)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 L 23/20 (2006.01)

C 0 8 L 91/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/08

C 0 8 L 23/10

C 0 8 L 23/20

C 0 8 L 91/00

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 12 日 (2011.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軟質ポリオレフィン組成物であって、

(A) プロピレンホモポリマー又は別の α -オレフィンとのプロピレンコポリマーを含むポリプロピレン成分 8 ~ 45 重量%、前記ポリプロピレン成分は少なくとも 85 重量%のプロピレンを含有し、室温でのキシレン可溶性が 20 重量%未満である；

(B) エチレンとプロピレン及び / 又は少なくとも 1 種のその他の α -オレフィンからなるコポリマー又はコポリマーの組成物を含み、エチレンを 15 重量% ~ 40 重量%を含有するエラストマー成分 45 ~ 82 重量%、前記ゴムは室温でのキシレン可溶性が 60 重量%を超える；

(C) ブテン - 1 のホモポリマー又はコポリマー及びパラフィンワックス又はグリースを含む粘度減少剤 10 ~ 25 重量%を含み、

前記組成物が MFR 1 である、前記軟質ポリオレフィン組成物。

【請求項 2】

前記ブテン - 1 のホモポリマー又はコポリマー及び前記パラフィンワックス又はグリースが、前記粘度減少剤 (C) 中に 1 : 5 ~ 5 : 1 の比で存在することを特徴とする、請求項 1 に記載の軟質ポリオレフィン組成物。

【請求項 3】

MFR 2 を特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の軟質ポリオレフィン組成物。

【請求項 4】

前記ブテン - 1 のホモポリマー又はコポリマーが MFR 100 であることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の軟質ポリオレフィン組成物。

【請求項 5】

前記粘度減少剤 (C) の添加前の前記ポリプロピレン成分 (A) 及び前記エラストマー成

分 (B) のブレンドが小 M F R (fractional MFR)であることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の軟質ポリオレフィン組成物。

【請求項 6】

前記パラフィンワックス又はグリースの融点が 50 を超えることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の軟質ポリオレフィン組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の軟質ポリオレフィン組成物の射出成形により製作された成形物品。